

## 第 2 期伯耆町子ども・子育て支援事業計画 における「量の見込み」について

### I 概要

市町村子ども・子育て支援事業計画には、子ども・子育て支援に係る現在の利用状況及び潜在的な利用希望を把握した上で、「教育・保育」と「地域子ども・子育て支援事業」の各事業について、提供区域ごとに量の見込みを定めるとともに、その提供体制の確保の内容、実施時期などを盛り込むこととされています。

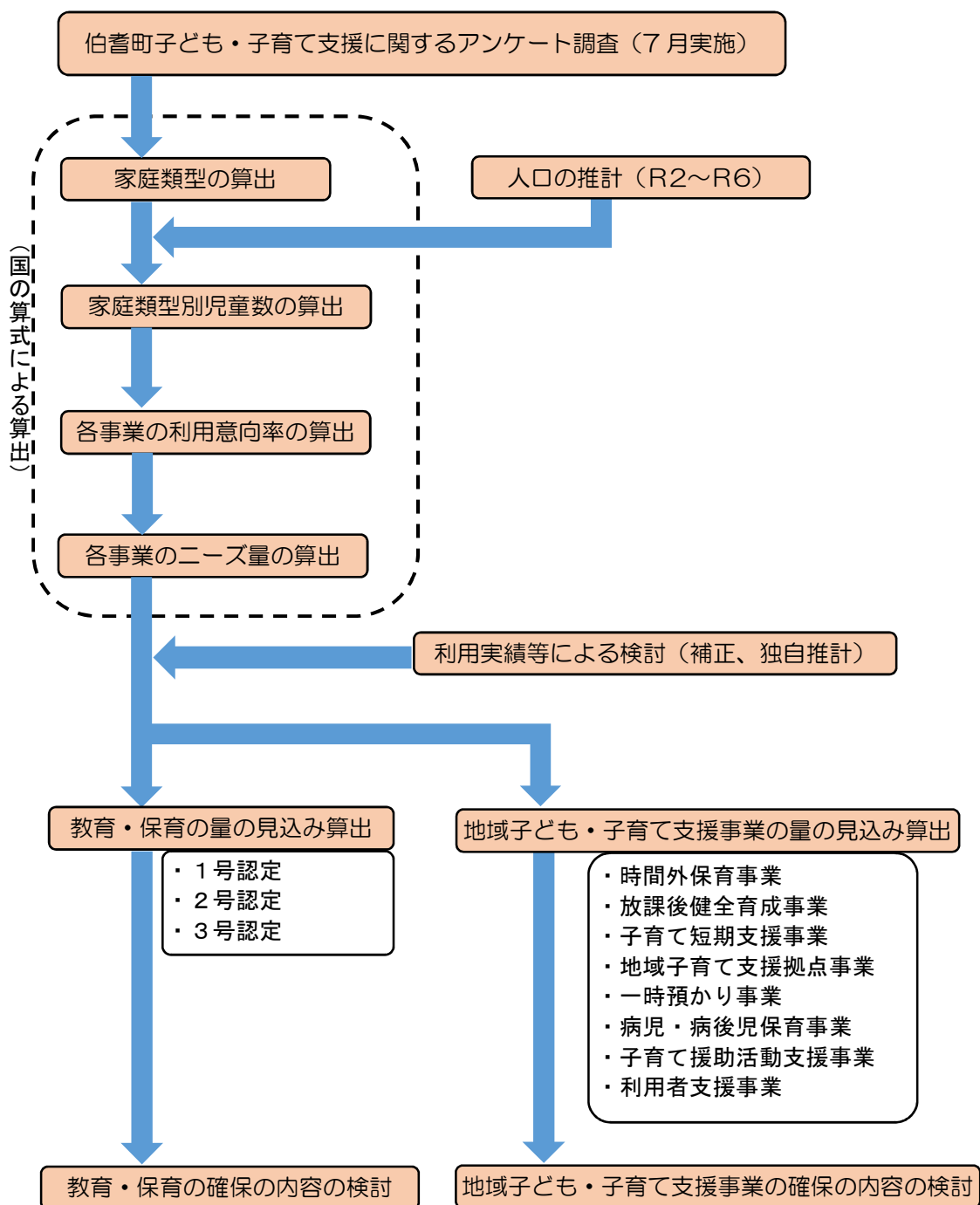
量の見込みは、ニーズ調査をもとに国の示した方法により算出するほか、トレンドや地域の実態等を十分に踏まえる必要があるため、必要に応じて数値の補正や過去の実績等により算出を行います。

#### 1. 「量の見込み」を算出する項目

全国共通で量の見込みを算出する項目は以下のとおりです。提供区域（案）の設定は、第 1 期計画と変更ありません。

対象事業		対象年齢	区域設定
教育・保育	1号 教育標準時間認定（認定こども園および幼稚園） ＜専業主婦（夫）家庭、短時間就労の家庭＞	3～5 歳児	町全域
	2号 保育認定（幼稚園） ＜保育の必要性があるが幼稚園利用の家庭＞	3～5 歳児	
	保育認定（認定こども園および保育所）		
3号 保育認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）	0 歳児、 1・2 歳児		
地域子ども・子育て支援事業	時間外保育事業（延長保育）	0～5 歳児	町全域
	放課後児童健全育成事業	小学生	小学校区
	子育て短期支援事業（ショートステイ）	0～18 歳	町全域
	地域子育て支援拠点事業	概ね 3 歳 未満	町全域
	一時預かり事業 ・幼稚園在園児を対象（預かり保育） ・その他	3～5 歳 0～5 歳	町全域
	病児・病後児保育事業	0～5 歳	町全域
	子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）	0 歳～ 小学生	町全域
	利用者支援事業	0～18 歳	町全域

## 2. 「量の見込み」の算出の流れ



## II 人口推計

人口推計は、平成31年4月1日現在の住民基本台帳人口を基礎として、「コーホート変化率法」により算出しています。また、0歳人口については、「子ども女性比」により推計しています。（詳細は、別紙資料を参照。）

（単位：人）

	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
0歳	65	65	64	63	61
1歳	77	71	71	70	69
2歳	83	83	76	76	75
3歳	86	86	86	79	79
4歳	67	90	90	90	83
5歳	85	68	91	91	91
6歳	92	88	70	94	94
7歳	77	93	89	71	95
8歳	88	78	94	90	72
9歳	102	88	78	94	90
10歳	101	102	88	78	94
11歳	89	102	103	89	79
計	1,012	1,014	1,000	985	982

<小学校区別児童人口の推計について>

提供区域を小学校区としている放課後健全育成事業（放課後児童クラブ）の量の見込みの算出には、区域外や校区外就学の状況を反映させた小学校ごとの児童数が必要なことから、伯耆町教育委員会による推計値を用いることとします。

### 岸本小学校

	R2	R3	R4	R5	R6
1学年	55	50	45	57	50
2学年	44	55	50	45	57
3学年	55	44	55	50	45
4学年	57	55	44	55	50
5学年	51	57	55	44	55
6学年	53	51	57	55	44
計	315	312	306	306	301

### 八郷小学校

	R2	R3	R4	R5	R6
1学年	10	9	7	7	11
2学年	13	10	9	7	7
3学年	5	13	10	9	7
4学年	11	5	13	10	9
5学年	14	11	5	13	10
6学年	9	14	11	5	13
計	62	62	55	51	57

### 溝口小学校

	R2	R3	R4	R5	R6
1学年	12	19	7	12	10
2学年	16	12	19	7	12
3学年	21	16	12	19	7
4学年	24	21	16	12	19
5学年	25	24	21	16	12
6学年	21	25	24	21	16
計	119	117	99	87	76

### 二部小学校

	R2	R3	R4	R5	R6
1学年	12	6	5	7	6
2学年	5	12	6	5	7
3学年	6	5	12	6	5
4学年	9	6	5	12	6
5学年	10	9	6	5	12
6学年	5	10	9	6	5
計	47	48	43	41	41

### Ⅲ アンケート調査による量の見込みの算出イメージ

#### 1. 家庭類型の分類

アンケート調査結果を活用し、対象となる子どもの父母の有無、就労状況から「家庭類型」（タイプAからタイプFまでの8種類）を求めます。

「家庭類型」は、現在の家庭類型と、母親の就労希望を反映させた潜在的な家庭類型ごとの分布を算出します。 ⇒ 算出には「潜在的な家庭類型」を用います。

タイプA (表外)・・・ひとり親家庭		母親		父親		
		1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中		
				120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満
1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプB		タイプC		タイプC'
3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間以上	タイプC		タイプE		タイプD
	120時間未満 下限時間以上	タイプC'		タイプE'		
	下限時間未満					
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない				タイプD		タイプF

(※) 下限時間とは保育の必要性の「就労下限時間」のことで、伯耆町では1か月あたり48時間に設定。

#### <伯耆町の家庭類型別世帯集計結果>

0歳～就学前	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親家庭	8	4.6%	8	4.6%
タイプB フルタイム×フルタイム	91	52.3%	98	56.3%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120h以上+月48h～120hの一部)	49	28.2%	47	27.0%
タイプC' フルタイム×パートタイム(月48h未満+月48h～120hの一部)	6	3.4%	8	4.6%
タイプD 専業主婦(夫)	19	10.9%	12	6.9%
タイプE パートタイム×パートタイム(双方月120h以上+月48h～120hの一部)	1	0.6%	1	0.6%
タイプE' パートタイム×パートタイム(いずれかが月48h未満+月48h～120hの一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプF 無業×無業	0	0.0%	0	0.0%
全体	174	100.0%	174	100.0%

## 2. 家庭類型別児童数の算出

推計児童数に「潜在的な家庭類型」の割合を乗じて、各年度の家庭類型別の児童数を算出します。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{推計児童数} \\ \text{(人)} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{家庭類型別世帯割合} \\ \text{(％)} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{家庭類型別児童数} \\ \text{(人)} \\ \hline \end{array}$$

## 3. 利用意向率の算出

アンケート調査結果から、事業ごとに、現在の利用者や今後の利用希望者が、アンケート回答者に占める利用意向の割合を算出します。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{各事業の利用希望者数 (人)} \\ \hline \text{現在、利用している。} \\ \hline \text{今後、利用したい。} \\ \hline \end{array} \div \begin{array}{|c|} \hline \text{調査回答者数} \\ \text{(人)} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{利用意向率} \\ \text{(％)} \\ \hline \end{array}$$
  
$$\begin{array}{|c|} \hline \text{各事業の利用希望数 (日・回)} \\ \hline \text{現在、〇日 (回) 利用している。} \\ \hline \text{今後、〇日 (回) 利用したい。} \\ \hline \end{array}$$

## 4. 量の見込みの算出

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{家庭類型別児童数} \\ \text{(人)} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{利用意向率} \\ \text{(％)} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{量の見込み (ニーズ量)} \\ \hline \text{利用意向児童数 (人)} \\ \hline \text{利用希望数 (日・回)} \\ \hline \end{array}$$

## IV 量の見込みの算出結果

### 1. 教育・保育の量の見込み

#### ■ 0歳家庭のみ

##### ① 3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

区分	実績				量の見込み				
	H27	H28	H29	H30	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量 ①	28人	29人	36人	33人	33人	33人	33人	33人	32人
児童数 ②	69人	53人	73人	73人	65人	65人	64人	63人	61人
入所率(①/②)	40.6%	54.7%	49.3%	45.2%	50.8%	50.8%	51.6%	52.4%	52.5%

<算出方法> **ニーズ調査** + **補正**

ニーズ調査による算出結果では、実績に比べ非常に高い水準（約 68%）となりました。これは、1年を超える育休取得状況が反映されないことが主な要因と考えられます。そのため、国から示された対応案により補正を行いました。

【補正前】

区分	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量	44人	44人	44人	43人	42人

【補正率】  $100\% - (8.7\% + 31.5\% \times 0.5) = 75.5\%$ （補正率）

（説明）18か月以上取得している者（8.7%）と、12～18か月取得している者（31.5%）のうち、半数が年度末までに利用を開始すると仮定しニーズ量から除く。（数値は「平成30年雇用均等基本調査」より）

#### ■ 1・2歳家庭のみ

##### ① 3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

区分	実績				量の見込み				
	H27	H28	H29	H30	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量 ①	115人	130人	120人	121人	135人	130人	124人	123人	122人
児童数 ②	146人	159人	144人	137人	160人	154人	147人	146人	144人
入所率(①/②)	78.8%	81.8%	83.3%	88.3%	84.5%				

<算出方法> **実績**

ニーズ調査による算出結果では、入所希望率が平成27年度と同程度となりましたが、近年の傾向を踏まえ、直近3年間の入所率の平均により算出を行いました。

※H30は転入等による広域利用が一時的に増加したため、入所率が高くなっています。（H30・9人、H29・1人、H28・2人）

[ニーズ調査による算出結果]

区分	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量	126人	121人	116人	115人	113人

■ 3歳から就学前家庭のみ

① 1号認定（認定こども園及び幼稚園）

区分	実績				量の見込み				
	H27	H28	H29	H30	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量 ①	16人	16人	14人	15人	16人	16人	18人	17人	17人
児童数 ②	263人	255人	248人	243人	238人	244人	267人	260人	253人
入所率(①/②)	6.1%	6.3%	5.6%	6.2%	6.6%				

<算出方法> **実績**

ニーズ調査による算出結果では、実績に比べ低い水準（約4%）となりましたが、過去の水準程度のニーズはありと見込んでいます。また、利用の多い近隣の幼稚園が今年度から新制度に移行したことや、本年10月からの教育・保育の無償化を背景に増加することも見込まれます。そのため、過去平均をベースに1割程度の伸びを見込んで、見込み量を算出しました。

[ニーズ調査による算出結果]

区分	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量	11人	11人	11人	11人	11人

② 2号認定（認定こども園及び保育所、幼稚園）

区分	実績				量の見込み				
	H27	H28	H29	H30	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量 ①	254人	240人	230人	223人	220人	224人	244人	238人	233人
児童数 ②	263人	255人	248人	243人	238人	244人	267人	260人	253人
入所率(①/②)	96.6%	94.1%	92.7%	91.8%	92.4%	91.8%	91.4%	91.5%	92.1%

<算出方法>

ニーズ調査による算出の結果、過去の実績と同程度の水準となりました。上記で見込んだ1号認定のニーズ量と合わせると、対象児童数に占める割合が約99%となるため、概ね全体のニーズが反映されているものと考え、ニーズ調査結果から量を見込みました。

（参考）R1.9 現在認可外保育施設等の利用状況…5人（3歳以上）

## 2. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み

### ①時間外保育事業（延長保育）

区分	実績				量の見込み				
	H27	H28	H29	H30	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量	60人	91人	92人	63人	125人	125人	129人	127人	124人

<算出方法> **ニーズ調査**

ニーズ調査で、利用希望時間「18時以降」で回答があったものが反映されるため、18時30分以降の利用を集計した実績に比べ多く算出されますが、過去の利用も年度によるバラツキがあり、実績による推計も難しいため、ニーズ調査結果から量を見込みました。

### ②放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

放課後児童クラブの見込み量の算出については、提供区域を小学校区に設定していることから、算定の基礎となる児童数は、教育委員会による推計値を使用しています。また、学年による利用希望に差があるため、利用実績から学年ごとに量の見込みを算出しました。（詳細は別添資料）

#### (1) 岸本放課後児童クラブ（岸本小学校区）

区分	R2	R3	R4	R5	R6
低学年 ①	68人	69人	66人	67人	70人
高学年 ②	11人	11人	9人	10人	10人
計(①+②)	79人	80人	75人	77人	80人
児童数(低学年) ①'	154人	149人	150人	152人	152人
希望率(①/①')	44.2%	46.3%	44.0%	44.1%	46.1%
児童数(高学年) ②	161人	163人	156人	154人	149人
希望率(②/②')	6.8%	6.7%	5.8%	6.5%	6.7%

#### (2) 八郷放課後児童クラブ（八郷小学校区）

区分	R2	R3	R4	R5	R6
低学年 ①	13人	15人	12人	10人	12人
高学年 ②	4人	2人	4人	4人	3人
計(①+②)	17人	17人	16人	14人	15人
児童数(低学年) ①'	28人	32人	26人	23人	25人
希望率(①/①')	46.4%	46.9%	46.2%	43.5%	48.0%
児童数(高学年) ②	34人	30人	29人	28人	32人
希望率(②/②')	11.8%	6.7%	13.8%	14.3%	9.4%



(3) 溝口放課後児童クラブ (溝口小学校区)

区分	R2	R3	R4	R5	R6
低学年 ①	22人	22人	19人	18人	14人
高学年 ②	8人	7人	5人	5人	5人
計(①+②)	30人	29人	24人	23人	19人
児童数(低学年) ①'	49人	47人	38人	38人	29人
希望率(①/①')	44.9%	46.8%	50.0%	47.4%	48.3%
児童数(高学年) ②	70人	70人	61人	49人	47人
希望率(②/②')	11.4%	10.0%	8.2%	10.2%	10.6%

<参考推計>二部小学校区「たくしクラブ」

区分	R2	R3	R4	R5	R6
低学年 ①	7人	8人	6人	5人	6人
高学年 ②	3人	3人	3人	4人	3人
計(①+②)	10人	11人	9人	9人	9人
児童数(低学年) ①'	23人	23人	23人	18人	18人
希望率(①/①')	30.4%	34.8%	26.1%	27.8%	33.3%
児童数(高学年) ②	24人	25人	20人	23人	23人
希望率(②/②')	12.5%	12.0%	15.0%	17.4%	13.0%

③子育て短期支援事業 (ショートステイ)

区分	実績				量の見込み				
	H27	H28	H29	H30	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量(年)	0人日	0人日	0人日	0人日	3人日	3人日	3人日	3人日	3人日

<算出方法> **ニーズ調査**

利用実績が無い場合、ニーズ調査により量の見込みを算出しました。

④地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）

区分	実績				量の見込み				
	H27	H28	H29	H30	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量(年) ①	1,808人回	1,480人回	1,579人回	2,407人回	2,579人回	2,510人回	2,418人回	2,396人回	2,350人回
児童数(0~2歳) ②	215人	212人	217人	210人	225人	219人	211人	209人	205人
利用率(①/②)	840.9%	698.1%	727.6%	1146.2%	1146.2%				

<算出方法> **実績**

ニーズ調査による算出では、実績と大きくかい離するため、移転により利用が大きく伸びた平成30年度の実績をベースに量の見込みを算出しました。

[ニーズ調査による算出結果]

区分	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量(年)	10,535人回	10,254人回	9,880人回	9,786人回	9,599人回

⑤一時預かり事業（保育所における一時保育）（※）

区分	実績				量の見込み				
	H27	H28	H29	H30	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量(年) ①	240人回	66人回	52人回	33人回	96人回	96人回	99人回	97人回	95人回
児童数(0~5歳) ②	478人	467人	465人	453人	463人	463人	478人	469人	458人
利用率(①/②)	50.2%	14.1%	11.2%	7.3%	20.7%				

<算出方法> **実績**

ニーズ調査による算出では、実績と大きくかい離するため、過去の実績（H27～H30 平均利用希望率）をベースに量の見込みを算出しました。

[ニーズ調査による算出結果]

区分	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量(年)	1,792人回	1,792人回	1,848人回	1,814人回	1,771人回

（※）「幼稚園における在園児を対象とした預かり保育」については、町内に幼稚園がないため利用実態の把握が困難なため、見込み量を算出していません。

（参考）[ニーズ調査による算出結果]

区分	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量	25人日	26人日	28人日	27人日	27人日

## ⑥病児病後児保育

区分	実績				量の見込み				
	H27	H28	H29	H30	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量(年) ①	89人日	97人日	139人日	124人日	133人日	133人日	137人日	134人日	131人日
児童数(0~5歳) ②	478人	467人	465人	453人	463人	463人	478人	469人	458人
利用率(①/②)	18.6%	20.8%	29.9%	27.4%	28.6%				

<算出方法> **実績**

ニーズ調査による算出では、実績と大きくかい離するため、利用施設の拡大を行った平成29年度から平成30年度の実績をベースに量の見込みを算出しました。

[ニーズ調査による算出結果]

区分	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量(年)	1,069人日	1,069人日	1,104人日	1,083人日	1,058人日

## ⑦子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

事業未実施のため、ニーズ調査による量の見込みが算出できず推計を行っていませんが、調査票の自由記述等からは、少数ですがニーズが見込まれます。ニーズへの対応については、確保の方策において検討します。

(以下は、国の手引きにおいて、ニーズ調査によらずに実績等により推計することとされている事業です。)

### ⑧利用者支援事業

子育て世代包括支援センターや子育て支援センターなどの事業において、ニーズへの対応を行っているため、量の見込みは算出していません。

### ⑨乳児家庭全戸訪問事業

区分	実績				量の見込み				
	H27	H28	H29	H30	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量(年)	60人	74人	72人	75人	65人	64人	63人	61人	60人

人口推計から出生数の見込みを算出し、訪問率 100%として推計を行いました。

### ⑩養育支援訪問等事業

区分	実績				量の見込み				
	H27	H28	H29	H30	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量(年)	6人	6人	6人	4人	6人	6人	6人	6人	6人

過去の訪問実績が、ほぼ横ばいであることから、同程度で見込みました。

### ⑪妊婦健診事業

		実績				量の見込み				
		H27	H28	H29	H30	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ量	妊婦数	68人	77人	74人	67人	65人	64人	63人	61人	60人
	受診回数	699回	926回	803回	876回	910回	896回	882回	854回	840回
1人あたり受診回数		10.3回	12.0回	10.9回	13.1回	14.0回				

出生数(推計値)と同数で妊婦数を見込み、1人あたりの受診回数を14回として受診回数を算出しました。(妊婦数及び受診回数の両方を計画に記載)